

MUSUBU! JAPAN DAY
-Connecting to Japan's Markets-

伊藤長官 挨拶

(令和 7 年 10 月 23 日 (木) 9:10～9:20)

本日はお招きいただき、誠にありがとうございます。ご盛会をお慶び申し上げるとともに、本イベントの開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

2023 年から開催している Japan Weeks も今年で 3 回目となります。昨年に引き続き、本イベント「MUSUBU! JAPAN DAY」を主催いただいている全国銀行協会の皆様をはじめ、共催の全国地方銀行協会、第二地方銀行協会、信託協会の皆様、関係者の皆様のご協力に心より御礼を申し上げます。

さて、先ほど、半沢会長から、今回のイベントのタイトルにある“MUSUBU”についてご紹介がありました。「モノやヒト、さまざまなアイデアが結びつくことで生み出される価値」、これこそが我が国の企業・経済の成長を実現させる原動力です。

このような動きを金融面から支えてきたのが「資産運用立国」の取組です。これまで取り組んだ NISA の抜本的拡充・恒久化、コーポレート・ガバナンス改革、資産運用業やアセットオーナーシップの改革といった幅広い施策は着実に進展し、内外投資家からも高く評価いただいています。

経済の成長や国民生活の向上のためには、この資産運用立国を更に推進し、金融の機能を一層強化していく必要があると考えています。

それにより、企業が、成長に向けたストーリーを描き、金融機関や金融市場から資金を調達し、設備や人への投資を戦略的に行っていく、という流れを金融の力を通じて更に促進します。

その結果、我が国の経済や雇用が下支えされるとともに、企業・経済の成長の果実が家計に還元されていくようになることが重要です。

まず、コーポレート・ガバナンス改革をより実質的なものとするにより、人的資本や成長分野への投資を促進してまいります。

コーポレート・ガバナンス改革については、この後、当庁の新発田の講演やパネルディスカッションでも取り上げられると承知しております。

企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を後押しするため、経営資源の適切な配分が行われているかの検証や説明責任の明確化等を内容とする「コーポレートガバナンス・コード」の見直しの検討を含め、企業と投資家との間での「緊張感ある信頼関係」に基づく対話を促進していきます。

また、企業へ成長資金・リスクマネーが供給されることも重要です。例えば、スタートアップ企業の成長を金融面から後押しするため、ベンチャーキャピタルの魅力向上や、東証グロース市場への上場前後の企業に向けた支援の充実、非上場株式の取引促進などに取り組んでまいります。

さらに、趨勢的な人口減少・高齢化の中で地域が持続的に発展していくため、地域金融には、地域経済に貢献する力、「地域金融力」の更なる発揮が求められています。同時に、地域経済の活性化は、地域金融機関の存続基盤の強化につながります。

今日お集まりの皆様をはじめ、様々なプレイヤーが「結びつき」、地域金融力を発揮していくため、金融庁として政策を総動員し、地域金融機関が、その役割を十分に発揮できるための環境整備を含め、できることには全て取り組みます。

そのため、年内を目途に地域金融に関連する施策をパッケージ化した「地域金融力強化プラン」を策定し、強力に推進してまいります。

本日は全国の金融機関をはじめ、内外投資家、市場関係者、企業経営者など、インベストメント・チェーンに関わる皆様方にご列席いただいていると承知しております。今回のイベントのテーマである「Connecting to Japan's Markets」のとおり、皆様と日本市場との「結びつき」を深め、日本市場の更なる発展に向けて、官民一体となって取り組んでいけたらと思います。

本日のイベントが皆様にとって有意義なものとなることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ご清聴いただき、ありがとうございました。